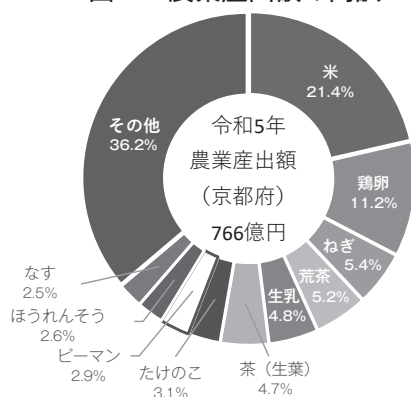


実は京都で人気のあるピーマン

ピーマンは明治時代にアメリカで品種改良されたものが日本に伝わりました。もともとトウガラシの一種で辛みはないものの、子どもの時は苦手な人も多いですが、生食でも肉などを詰めて焼いてもおいしい、そんなピーマンの生産と消費の動きについて統計データを用いて調べてみました。

はじめに、京都府の令和5年農業産出額をみると766億円で、そのうちピーマンは22億円と全体の2.9%を占め、第8位の農産物となっています。（図1）

図1 農業産出額の内訳



出典：生産農業所得統計（農林水産省）

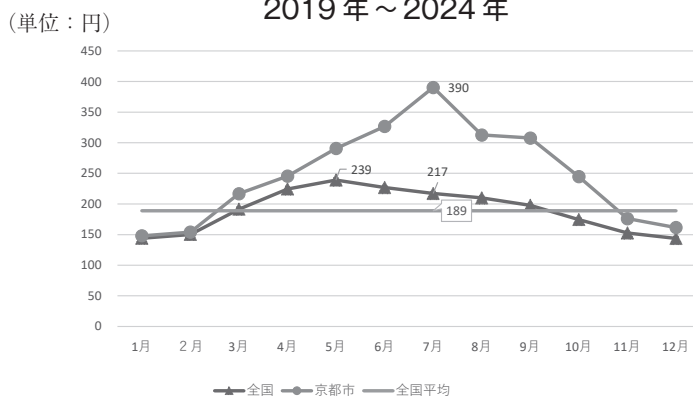
表 ピーマンの消費支出金額（単位：円）

順位	2019年～2021年平均		2022年～2024年平均	
	都市等	支出金額	都市等	支出金額
	全国	2,291	全国	2,254
1	相模原市	3,165	京都市	2,990
2	横浜市	3,041	東京都区部	2,989
3	京都市	2,961	横浜市	2,960
4	さいたま市	2,946	さいたま市	2,957
5	東京都区部	2,941	川崎市	2,765
6	川崎市	2,933	相模原市	2,748
7	千葉市	2,914	神戸市	2,668
8	札幌市	2,711	札幌市	2,636

出典 総務省 家計調査（二人以上の世帯）

次に、家計調査（二人以上の世帯）から、京都市の年間の1世帯あたりの消費金額をみると、2019年～2021年平均では2961円で都道府県庁所在市及び政令指定都市の中で全国3位、2022年～2024年平均では2990円で全国1位となっています。（表）

図2 ピーマンの月別1世帯当たりの消費支出金額
2019年～2024年



出典 総務省（家計調査）※6年平均に加工

さらに、2019年～2024年の平均の月別支出金額をみると、全国で最も多いのは5月、京都市で最も多いのは7月となっています。7月で比較すると、京都市では全国より173円程度多く支出しています。

また、支出金額が全国の月平均の189円以上となるのは、全国では3月から9月の間、京都市では3月から10月の間となっています。京都市では全国と比べて春から秋の長い期間にわたってピーマンを購入する世帯が多いことがうかがえます。（図2）

栄養価が高く、ビタミンCやβ-カロテンが豊富なピーマン。老化防止や免疫力アップが期待できるピーマンを今日の献立に加えてみませんか。